

1. このプログラムについて

このプログラムは、e-Tax データを読み込んで、埋め込まれているXBRL インスタンスおよび拡張タクソノミーを抽出し、ファイルとして保存します。さらにそのインスタンスを、財務諸表ごとにHTML形式に変換します。

2. インストール

a. JDK/JRE1.4.2 以降のインストール

このプログラムを実行するためには、Java の実行環境が必要になります。必要に応じてインストールを行ってください。

<http://java.sun.com/j2se/>

b. タクソノミーの配置

このプログラムを実行するためには、税務用財務諸表タクソノミーが必要になります。以下の手順で税務用財務諸表タクソノミーをダウンロードし、配置してください。

1. XBRL Japan のホームページ(<http://www.xbrl-jp.org/>) から、税務用財務諸表タクソノミー(2006年3月7日版)をダウンロードする。
2. 1 でダウンロードしたファイルを解凍する。
3. 2 で解凍されたフォルダを、このプログラムの taxonomy フォルダにコピーする。
4. 3 でコピーしたフォルダの名前を 2006-03-07 に変更する。

3. 実行方法

3.1 ドラッグ&ドロップでの実行

e-Tax データのファイルをドラッグし、etaxDemo.bat にドロップします。e-Taxファイルと同じフォルダにフォルダが作成され、XBRLファイルとHTMLファイルが出力されます。また、作成されたフォルダをエクスプローラで表示し、さらにHTMLファイルをブラウザで表示します。

e-Taxファイルと画像ファイル(*.gif, *.png, *.jpg)の2つをetaxDemo.bat にドロップすると、HTMLの右上に画像ファイルを表示することができます。

3.2 バッチファイルでの実行

.bat を以下の引数を与えて実行します。

```
run.bat <e-Taxデータファイル> [<画像ファイル>]
```

第1引数には e-Taxデータファイルを指定します。

第2引数には画像ファイル(*.gif, *.png, *.jpg)を指定します。指定された画像ファイルが、HTMLの右上に表示されます。第2引数は省略可能です。

4. 出力ファイル

出力フォルダは、以下の名前になります。
eTaxOutput_<e-Taxファイル名(拡張子は除く)>

例えば、e-Taxファイルとして sample.txt ファイルを指定すると、eTaxOutput_sample というフォルダが sample.txt ファイルと同じフォルダに作成されます。

そのフォルダには、以下のフォルダおよびファイルが出力されます。

- ・ xbrl フォルダ

以下のファイルが出力されます。

- ・ 抽出された拡張タクソミーのスキーマおよびリンクベース
- ・ 抽出されたインスタンス
- ・ 税務用財務諸表タクソミーのコピーが出力されます。

- ・ report フォルダ

抽出されたインスタンスを財務諸表ごとにHTML形式に変換したファイルが出力されます。

-
- ・ MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です
 - ・ JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国Sun Microsystems, Inc. の、米国およびその他の国における登録商標または商標です
 - ・ XBRLは、XBRL International, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です
 - ・ その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標、商標、またはサービスマークです